



トヨタ 20 クラウン

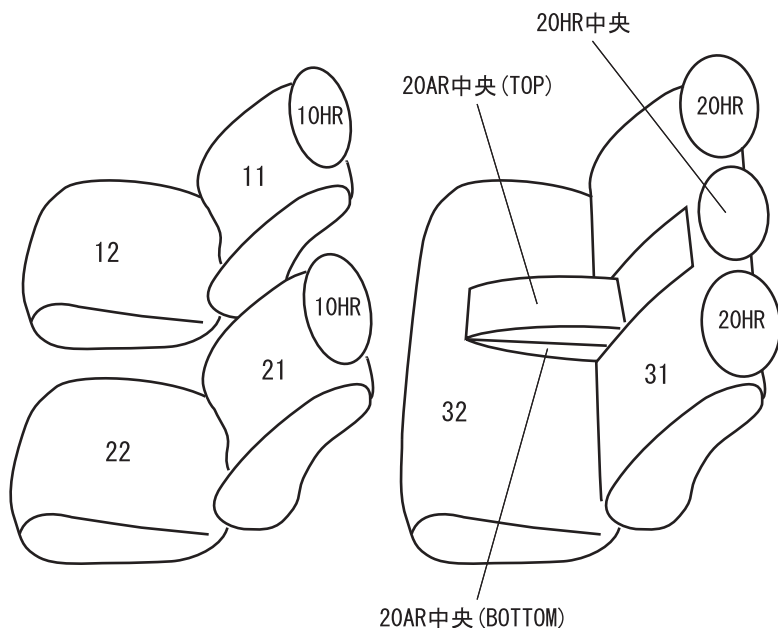
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

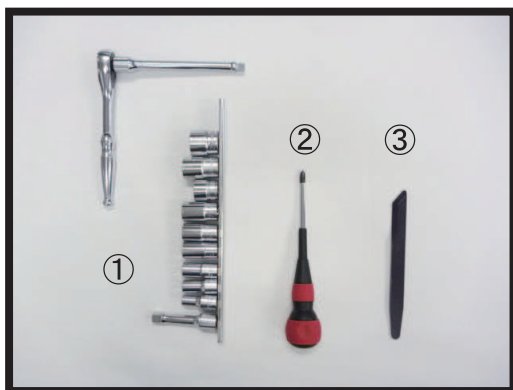
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

0188/0189/1420/1421

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ① ソケットレンチセット
- ② プラスドライバー
- ③ ヘラ (付属)

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地が硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



- 1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



- 2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



- 3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



- 4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

1 列目座面



①はじめに、背面下側から座面裏側を隠している生地を外します。
座面裏にゴムがプラスチックパーツで固定されています。(2ヶ所)



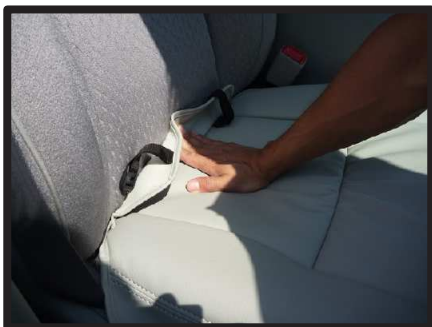
④入れ込んだ生地を背面から引き出します。



②座面カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。



⑤シート本体とプラスチックカバーの間にベルトを入れ込みます。
ベルトは座面裏に近い位置を通し、後ろに引き出します。



③背もたれと座面の間に生地を入れ込みます。



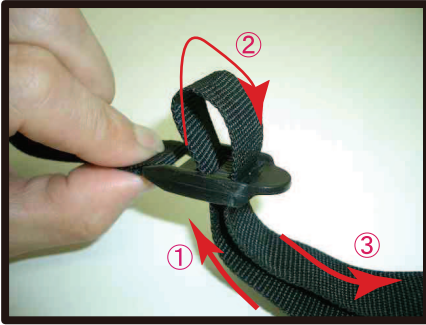
⑥前後のベルトを座面裏で固定します。

1 列目背もたれ



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



⑦ベルトは図のように真中の穴に通して、右端の穴に通します。ベルトを引いて固定します。強く引きすぎるとベルトが切れる恐れがありますので、ご注意ください。



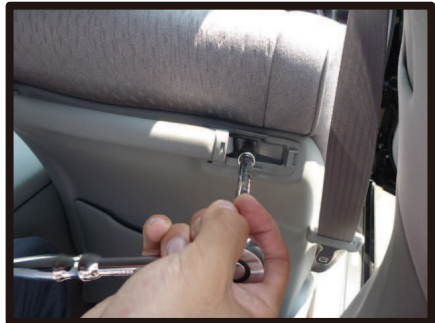
⑧外側面の生地はプラスチックカバーの中に入れ込みます。



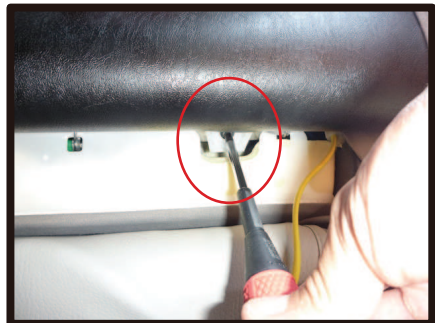
⑨カバーのラインを整えます。1列目座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。



①背面のバックハンドルを外します。バックハンドル両端のカバーをヘラ等を使用して外します。



②プラスチックカバーの中にあるボルトをラチェット等を使用して外します。



③プラスチックカバー下側が、ネジで固定されていますので外します。(2ヶ所)



④プラスチックカバーを下に引き下げ外します。



⑦背もたれ前面の生地を背もたれと座面の間に入れ込みます。



⑤ヘッドレストの台座とカバーの穴位置を合わせ、肩口までしっかりかぶせます。



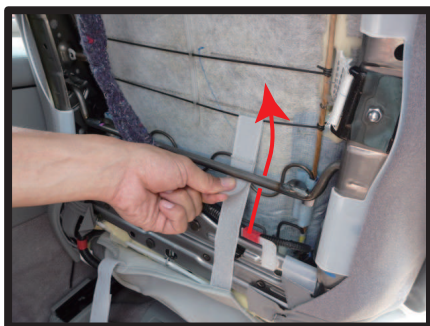
⑧矢印の①～③の順にカバーをシートに馴染ませ、形を整えます。



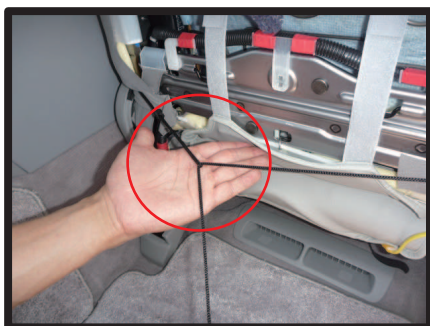
⑥ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地伸びを利用して横からもぐり込ますように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意下さい。



⑨⑦で入れ込んだ生地を背もたれ背面から引き出します。



⑩引き出した生地が付いているマジックテープを、背もたれの金属バーに固定します。この時、太い金属バーより背もたれ側を通して下さい。



⑪カバー側面に付いているヒモを背面で固定します。
片側のヒモで輪を作り、反対側のヒモを通して絞り込み固定します。



⑫固定した状態です。



注意

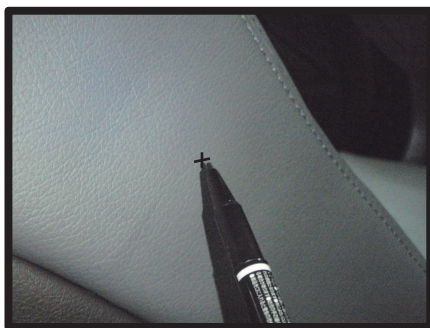
サイドエアバッグが装備されているシートでは、⑩⑪の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



⑬サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認してください。背面のプラスチックカバーを戻します。カバーのラインを整えます。1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

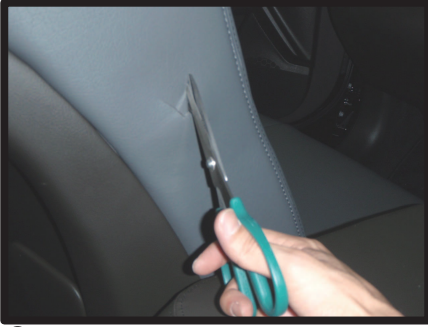


⑭助手席側の背もたれにはスイッチがあります。カバーの上からでも操作可能です。



⑮カバーを加工します。カバーを取り付けた後、スイッチの中心に印を付けます。

2列目座面



⑯印を付けた位置を切り、穴を開けます。スイッチより小さな穴を開けます。この時、シート本体を傷付けないよう慎重に作業して下さい。



⑰座面を取り外して作業を行います。座面の前側を持ち上げるように、引上げて取り外して下さい。シートを外す時に車体を傷付けないよう慎重に作業して下さい。



⑱開けた穴からスイッチを取り出します。ヘラ等を使用すると作業しやすくなります。



⑲座面カバーをシートにかぶせます。



⑳スイッチ部分の加工完成です。



㉑前後のベルトを固定します。



④カバー前後に付いているゴムを、付属のS字フックで固定します。

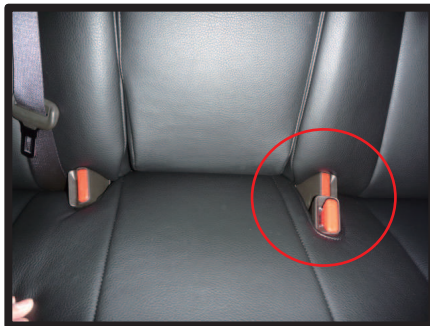


⑦2列目座面の完成です。
シートを車体に戻す作業は、背もたれ・アームレストを完成させた後に行います。



⑤カバー側面に付いているヒモを後ろ側で固定します。

H20.2～21.3までの車と、H21.4以降の車では、2列目座面の形状が異なります。
※カバーは同様に取り付けます。



H20.2～21.3までの車 (0188・0189)
座面○部のシートベルトバックルが縦に並んでいます。



⑥カバーをシートに固定した状態です。



H21.4以降の車 (1420・1421)
座面○部のシートベルトバックルが横に並んでいます。

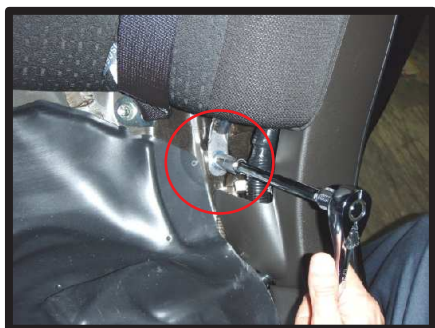
2列目背もたれ



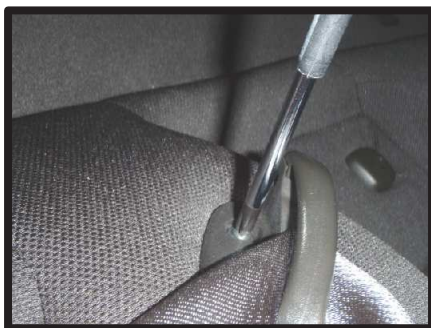
①ヘッドレストを外し、目隠しの丸いプラスチックを外すと中にナットがありますので、ラチェット等を使用し、外します。(左右2ヶ所)



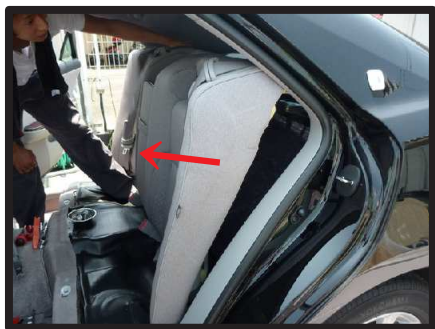
④背もたれをずらす際には、背もたれ裏側に、サイドエアバッグ用の配線がありますので、注意して下さい。



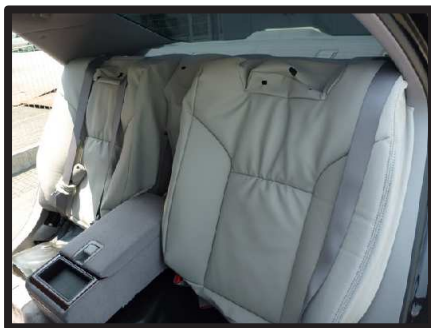
②背もたれ下側にボルトがありますので、外します。(4ヶ所)



⑤肩口にあるシートベルトの固定台座を、ドライバーを使用し、外します。



③背もたれ全体を前側にずらします。
※背もたれは外さずに作業を行います。



⑥カバーをシートのラインに合わせます。



⑦ヘッドレストの台座を取り出します。



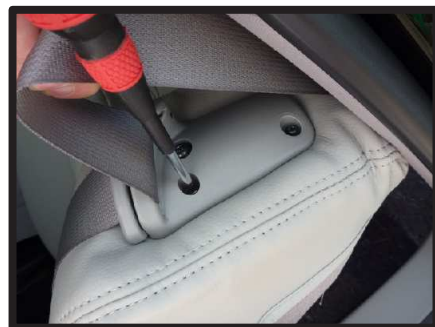
⑩側面の生地を車体とシートの間に入れ込みます。



⑧カバーは、背もたれ肩口からかぶせていきます。



⑩背もたれ下側の金属バーをカバーの穴に通します。



⑨⑤で外した固定台座を取り付けます。



⑫アームレスト裏側のパネル部分のマジックテープを固定します。

2列目アームレスト



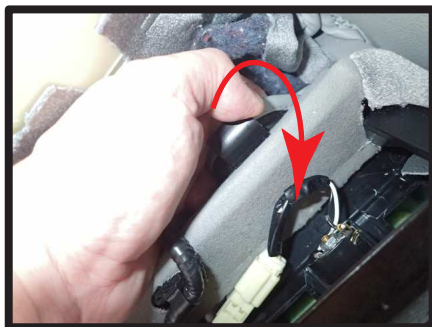
①アームレストのフタを開いて、プラスチック部分を外します。○位置のネジを外すとプラスチック部分が外れます。



④アームレストの下側に生地を入れ込みます。生地の先端にブラフックが付いている為、作業は慎重に行ってください。



②プラスチック部分を外すと、フタを固定しているヒンジが見えます。ヒンジを固定しているネジを外します。外したフタは背もたれ側に寄せておきます。



⑤アームレストを倒した状態で、④で入れ込んだ生地とブラフックを取り出します。



③アームレスト本体にカバーをかぶせます。ドリンクホルダー位置に、カバーの加工穴が合うように調整して下さい。



⑥取り出したブラフックを、アームレスト本体に直接引っ掛け、固定します。(2カ所)



⑦図の○位置のネジを外すと、プラスチック部に浮きが出てきます。この状態で、プラスチック部の隙間に生地を入れ込みます。



⑧カバーの先端にある切り込み部は、プラスチック部を固定するツメをかわす為のものです。※図は、ツメの位置が分かりやすいようにツメの固定を外していますが、カバー装着の際に、ツメの固定を外す必要はありません。

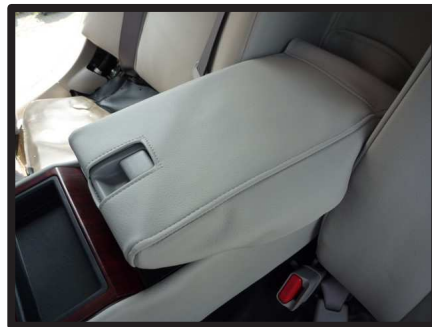


⑨ドリンクホルダー部分も同様に生地を入れ込みます。



⑩カバーのラインを整え、⑦で外したネジを元に戻して、アームレスト本体の完成です。

※この作業の後に、背もたれ装着時に外したナットとボルト（7ページの①②）を元に戻します。

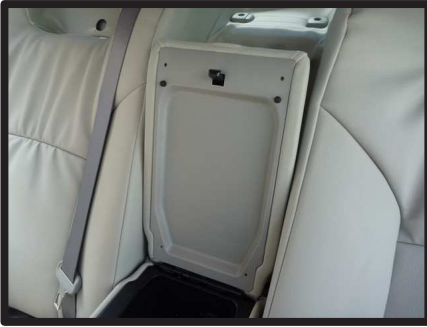


⑪アームレストのフタにカバーをかぶせます。



⑫両面テープ等を使用してアームレストにカバーを固定します。

ヘッドレスト



⑬プラスチック部分を、外した時と逆の手順で元に戻します。



①ヘッドレストカバーの前後を確認してからかぶせます。平らなプラスチック部品が付いている方が前です。ラインを合わせてからかぶせて下さい。



⑭アームレストのカバーに付いているマジックテープは、背もたれカバーに付いているマジックテープと固定します。



②左右均等に引き下げます。縫い目部分に力がかかりすぎると、生地が破れる恐れがありますので、作業は慎重に行なって下さい。



⑮アームレストの完成です。



③カバーは、プラスチックフックを使い固定します。



④平らなプラスチック部側を生地とともにフック部に入れ込みます。プラスチック部のみフックに入れ込んでもしっかり固定されませんのでご注意ください。(写真断面図)



⑦2列目中央ヘッドレストの取付けはヘッドレスト本体を揉み込むように前側からカバーを入れ込みます。



⑤2列目ヘッドレストは、一方の側面にカバーをかぶせてから、もう一方へかぶせるようにします。



⑧1列目と同様にプラスチックフックで固定します。



⑥1列目ヘッドレストと同様に、プラスチックフックで固定し、2列目ヘッドレスト完成です。



⑨ヘッドレストを背もたれに取り付け2列目中央ヘッドレストの完成です。

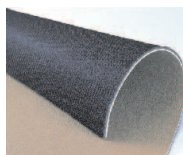


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

- 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

- ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

- シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

